

情報革命で人々を幸せに



2026年3月

ソフトバンクグループ株式会社(東証プライム市場 9984)

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。証券の募集、購入の申し出の勧誘、又は証券の売出しは、1933年証券法(その改正を含む。以下、「証券法」という。)の登録要件に従って行われます。本資料に含まれる情報は、証券法ルール135に従って記載されるものです。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、Arm及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGがそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

会社概要

(2025年3月末)

商号	ソフトバンクグループ株式会社
設立年月日	1981年9月3日
本社所在地	東京都港区海岸1-7-1
代表取締役 会長兼社長執行役員	孫 正義
従業員数	274人(連結ベース約6.7万人)
証券コード	東京証券取引所 プライム市場(9984)
単元株式数	100株
2025年度1株当たり配当金	中間配当金 22円 期末配当金 5.5円(予定)

株価 4,037円

時価総額 23兆円

格付(長期発行体格付)

日本格付研究所
(JCR) A

S&P BB+

※ 株価、時価総額および格付:2026年2月25日時点



ソフトバンクの事業変遷ーグローバルな投資持株会社に

変わらぬビジョン:「情報革命で人々を幸せに」

孫正義がソフトバンクを立ち上げ。名前の由来は「ソフトウェアの銀行」



PCソフトの卸売業

1981年創業



パソコン時代の到来

2005年:
ホークス買収



2001年:Yahoo! BB
ADSL事業開始
2004年:日本テレコム買収



1996年:ヤフー事業開始
2000年:アリババへの投資



インターネット・
ブロードバンド事業

1996年～2005年



日本のブロードバンドの普及をサポート

2014年:
アリババグループ
上場



2013年:
米国スプリント
買収



2008年:
iPhone発売
(日本初)



2006年:
ボーダフォン
ジャパン買収



モバイル
ブロードバンド

2006年～2014年



モバイル事業を通じて生活を豊かに

2023年: アーム
ナスダックに再上場



2020年: スプリント、
T-モバイルと合併



SoftBank

2018年:
SBKK上場

2017年:SVF1始動
2019年:SVF2始動

2016年:
英国半導体設計大手アーム買収



Data and AI

2015年以降



AI革命の
実現に向けて

2025年:
ABBロボティクス事業買収発表
Ampere買収完了
DigitalBridge買収発表

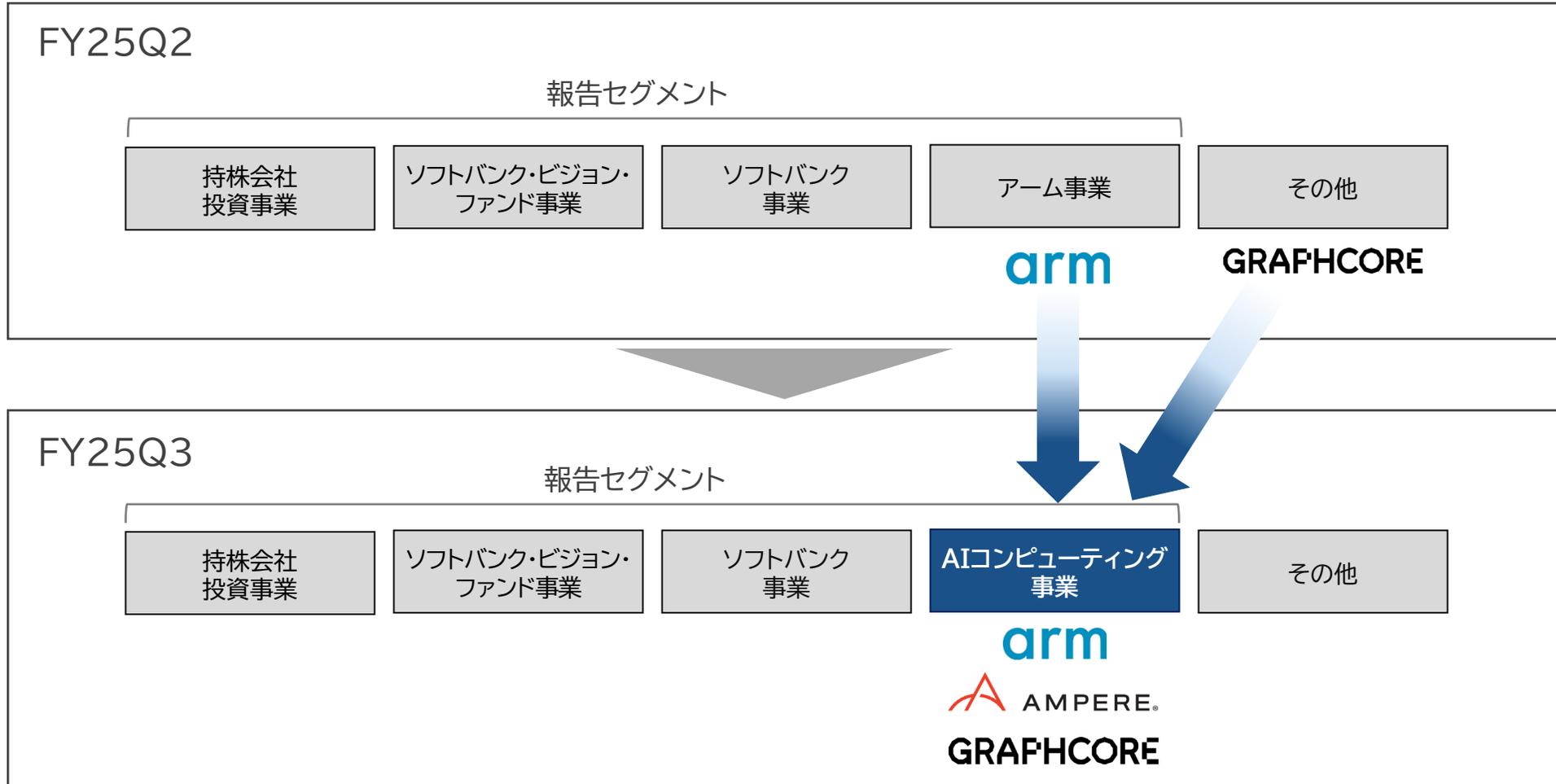


2025年:
Stargate Project発表
クリスタル・インテリジェンス発表
OpenAIへの大型投資完了

OpenAI

報告セグメントの新設

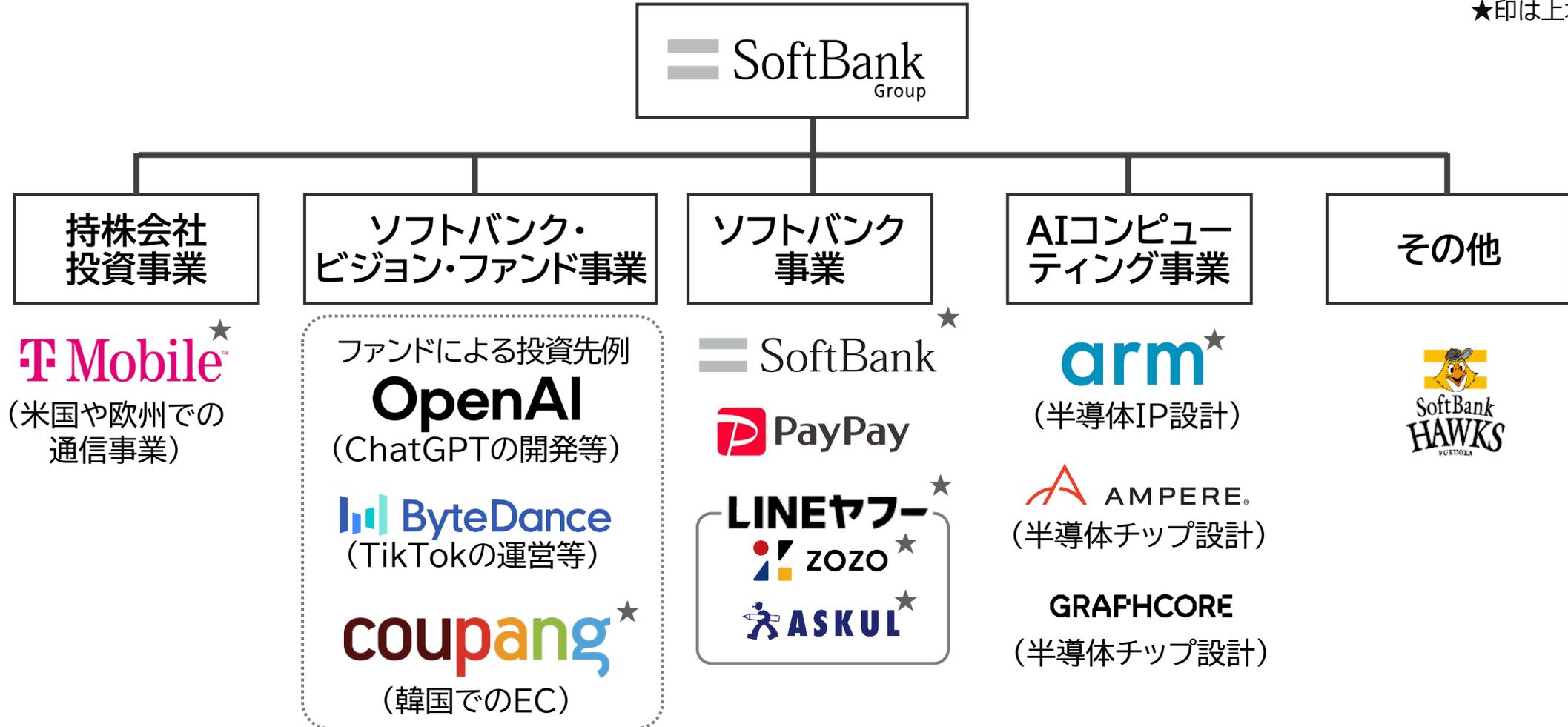
アーム、Graphcore、FY25Q3に買収完了したAmpereなどの半導体関連子会社をまとめ「AIコンピューティング事業」を新設



事業セグメントおよびグループ企業

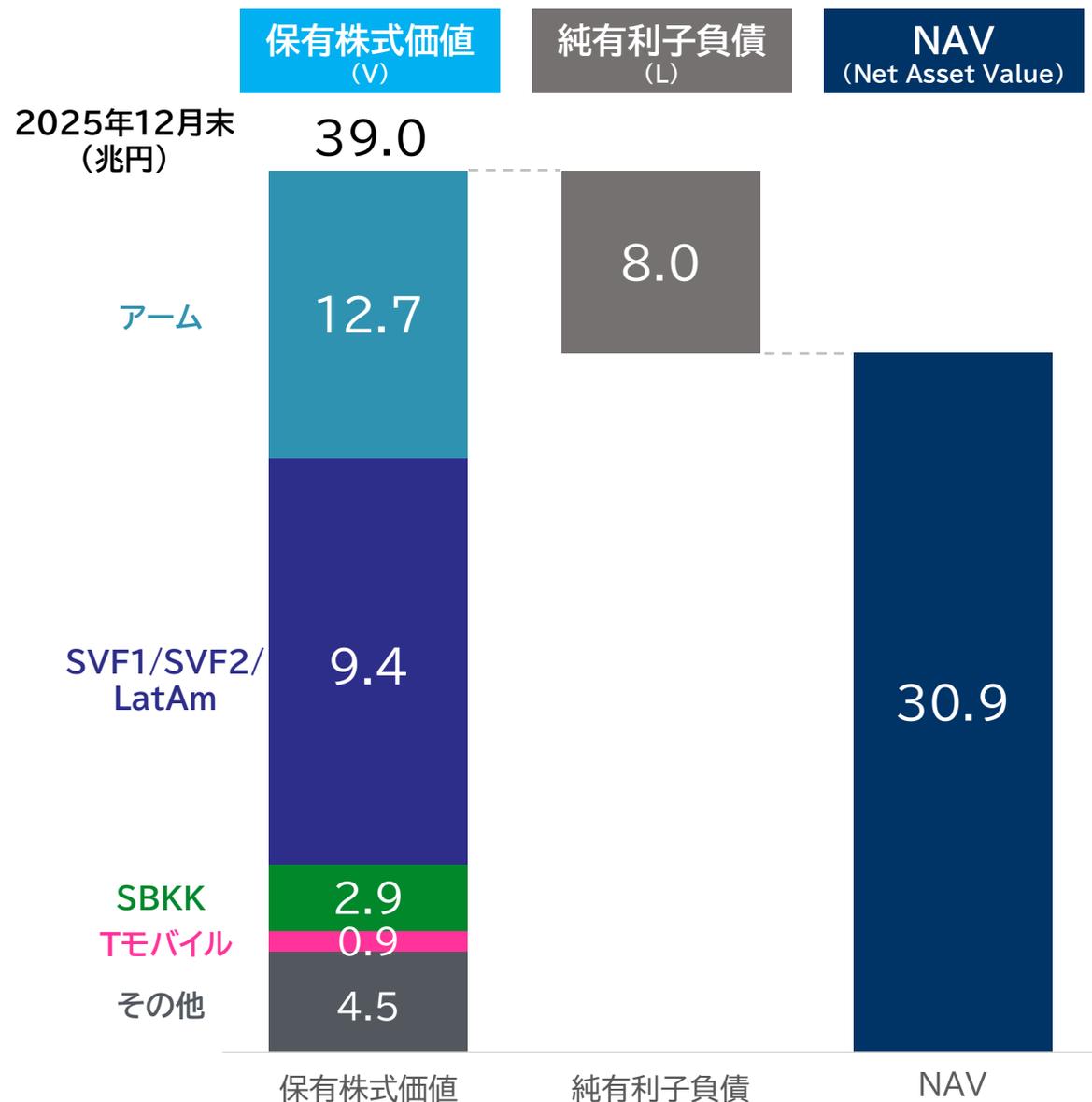
幅広い業種・地域に展開する企業群

2025年12月末現在
★印は上場企業

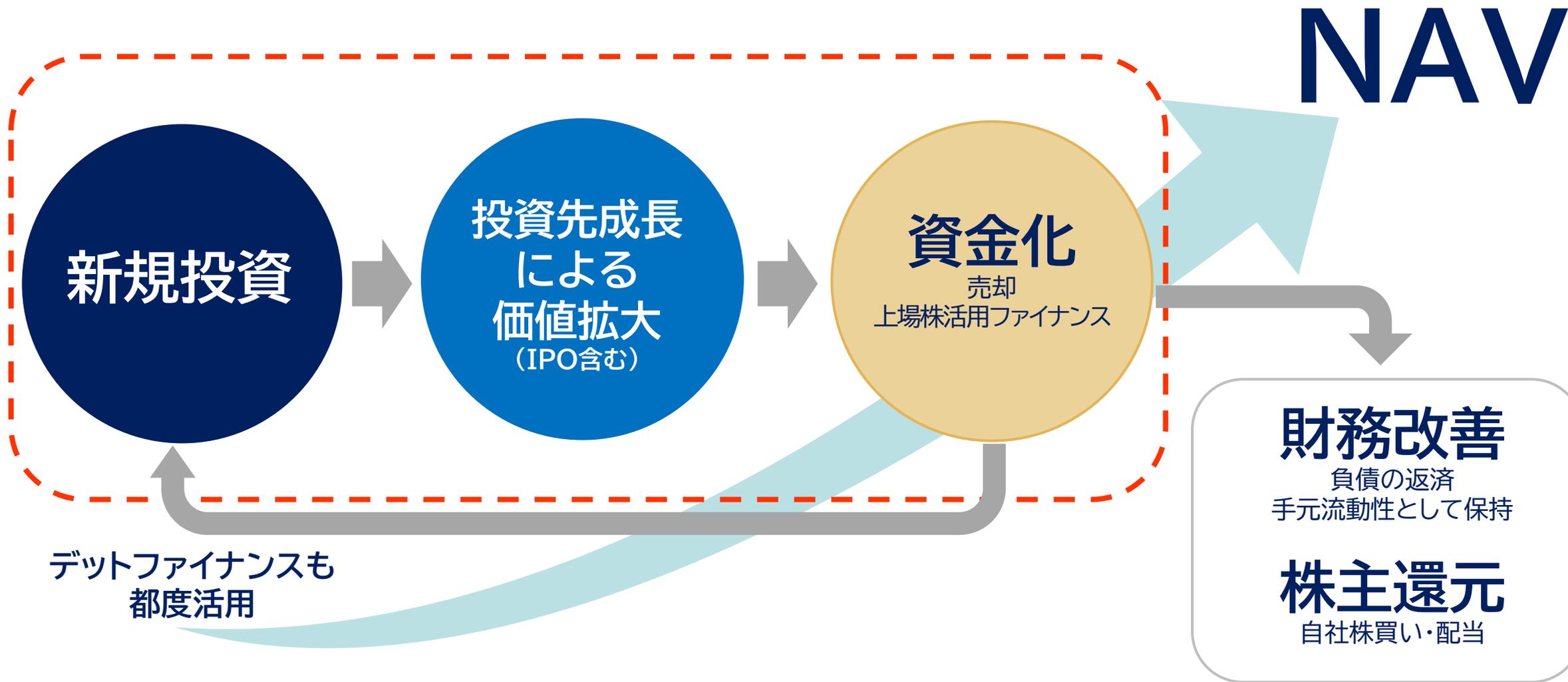


(億円)	2024年度 Q1-Q3	2025年度 Q1-Q3	増減額
売上高	53,026	57,192	+4,167
投資損益	21,700	42,203	+20,503
税引前利益	12,709	41,692	+28,982
純利益	6,362	31,727	+25,365

当社の重要指標：NAV・LTV



投資サイクルを繰り返しながらNAVを拡大



重要指標

	2025年3月末	2025年9月末	→	2025年12月末
NAV (時価純資産)	25.7兆円	33.3兆円	→	30.9兆円
LTV (純負債／保有株式価値)	18.0%	16.5%	→	20.6%
手元流動性	3.4兆円	4.2兆円	→	3.8兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年9月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年12月末時点)」を参照
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円(コミットメントライン)。SBG単体ベース。SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン(PBローン)残高4,698億円を控除



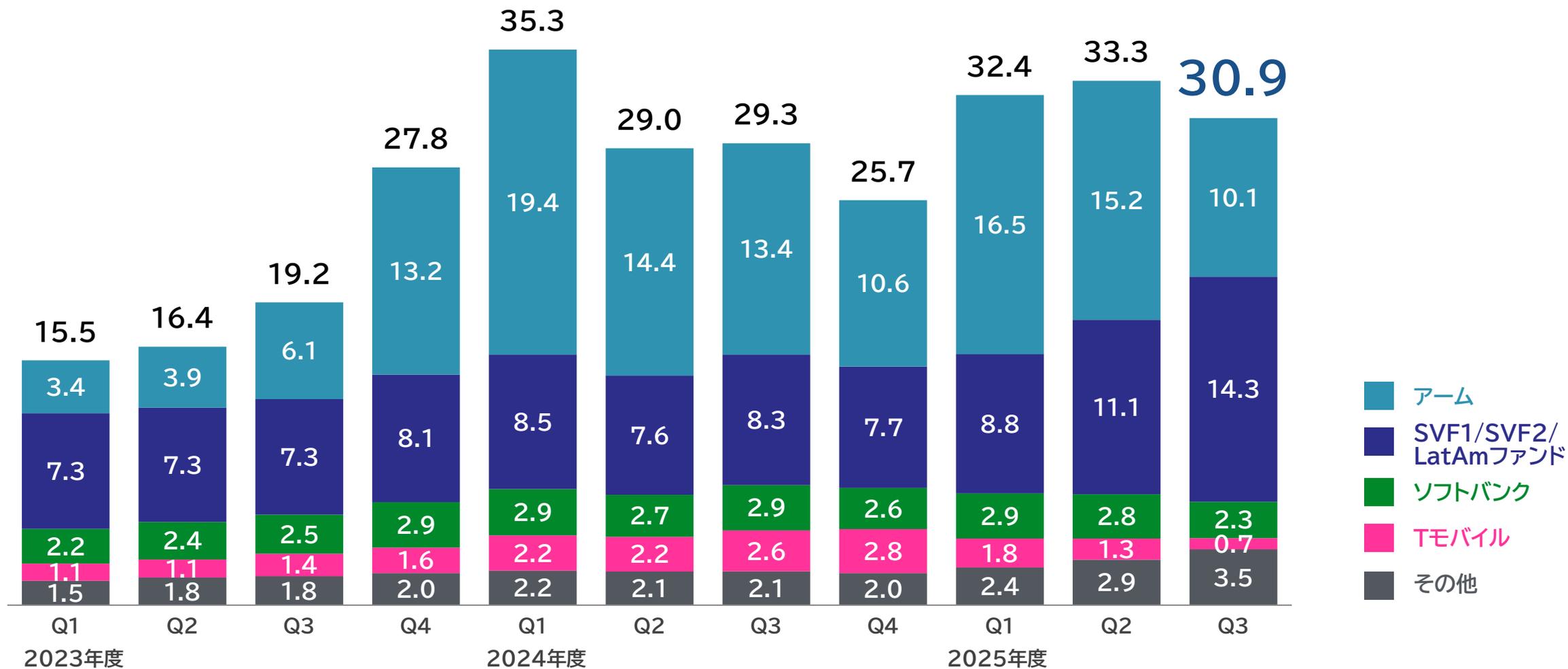
AIを制する者が未来を制す

2020年11月9日 13



NAV

(兆円)



各四半期末時点の保有株式価値の割合で按分
NAVの詳細は、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照

The OpenAI logo is a circular emblem with a dark blue gradient. It features a stylized, multi-layered leaf or flower-like pattern composed of small white dots. The text "OpenAI" is written in a bold, white, sans-serif font across the center of the circle.

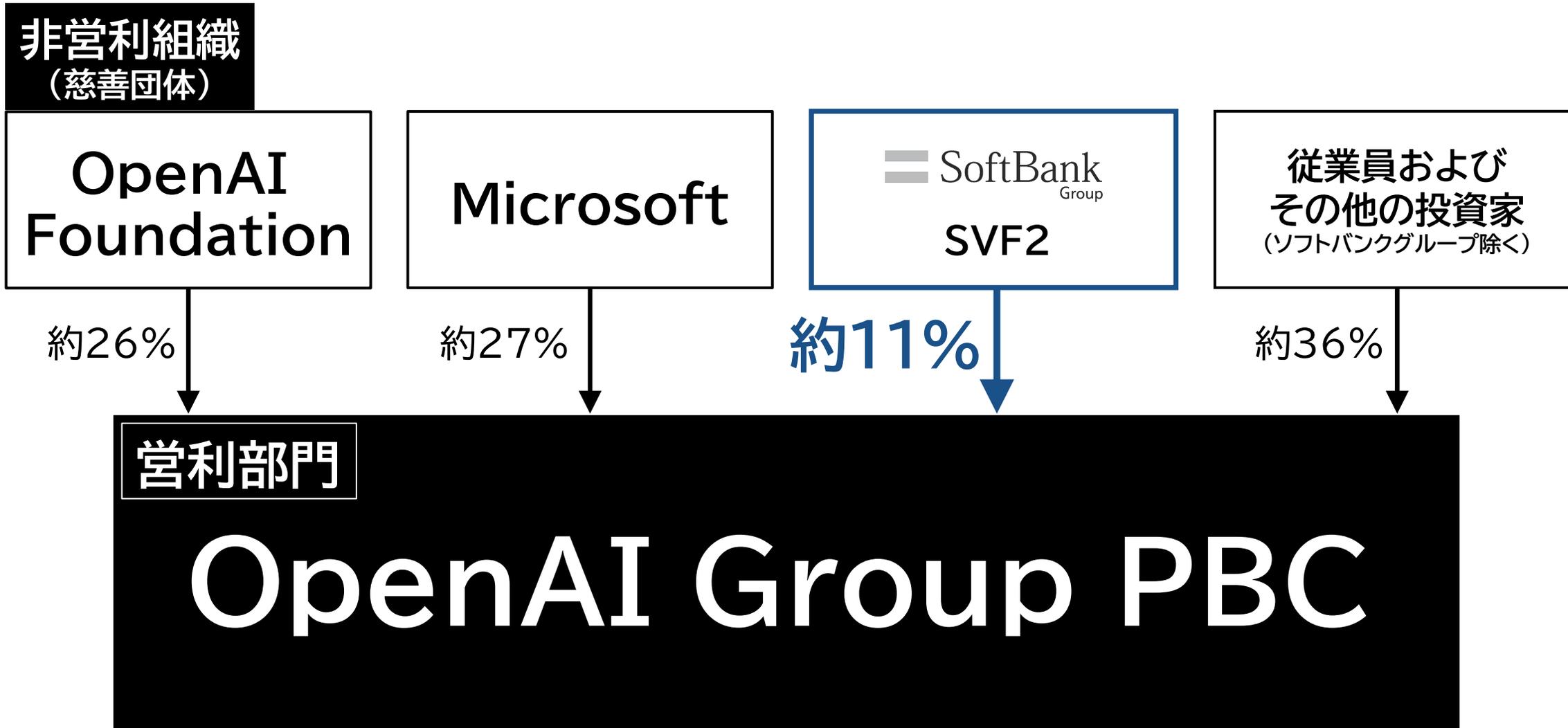
OpenAI

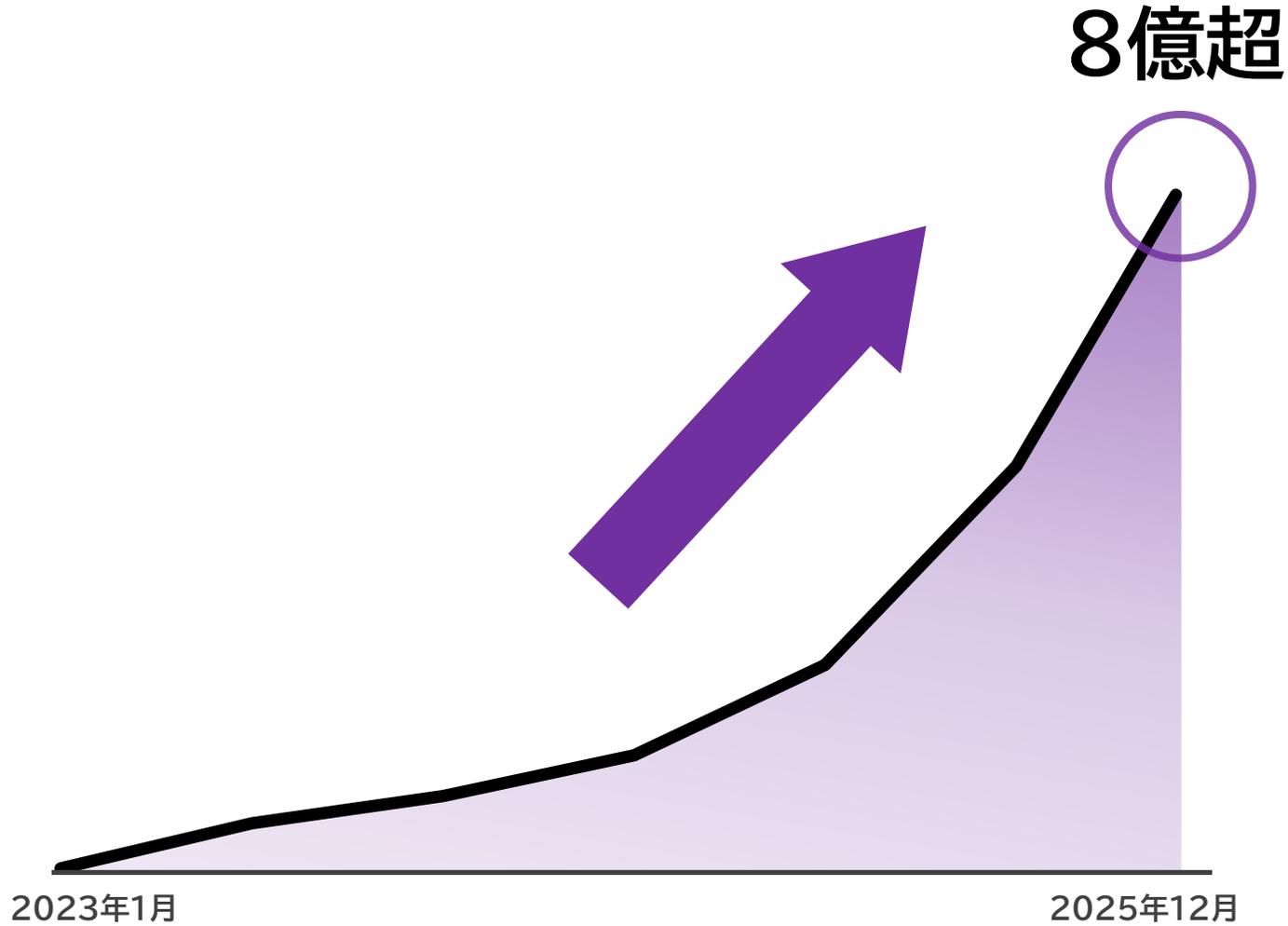
(AIモデル)

The ARM logo is a circular emblem with a light blue gradient. It features a stylized circuit board pattern composed of white lines and dots. The text "arm" is written in a bold, white, lowercase, sans-serif font across the center of the circle.

arm

(半導体設計)



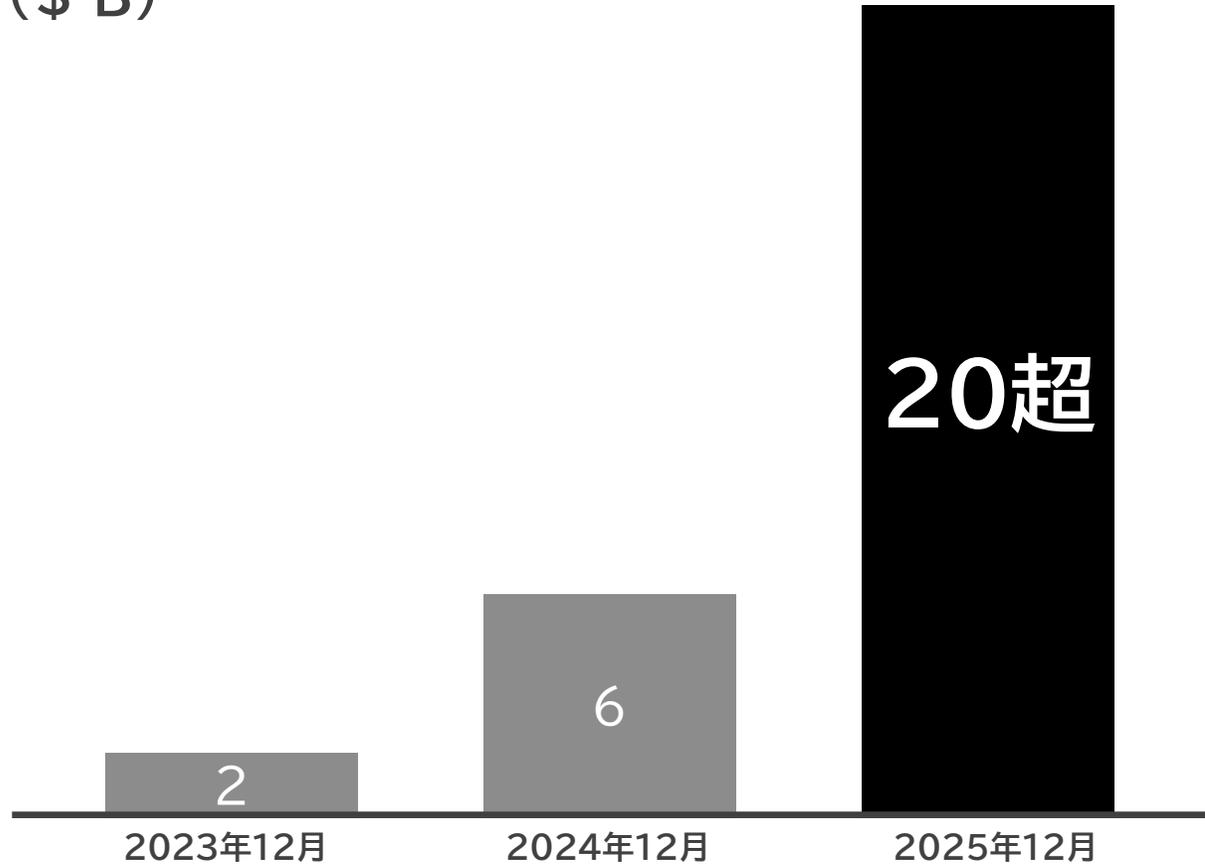


リリースから3年で
8億超に

年間経常収益 (ARR: Annual Recurring Revenue)

OpenAI

(\$ B)



2年で10倍

(出所) OpenAIブログ(2026年1月18日付)

ARR:対象月に計上された契約ベースの継続収益を12倍して算出した年換算額。コンシューマー向けサブスクリプション、エンタープライズ向けサブスクリプション、API提供、その他のサービスからの収益を含む

次々に新製品を発表

OpenAI

今後の成長を支える新製品を順次リリース

ChatGPT for Healthcare (2026年1月)



個人の健康データや医療情報を安全に活用し、健康管理・受診準備・医療情報の理解を支援し、患者および医療従事者の意思決定をサポート。260人以上の医師と協力して開発

Prism (2026年1月)



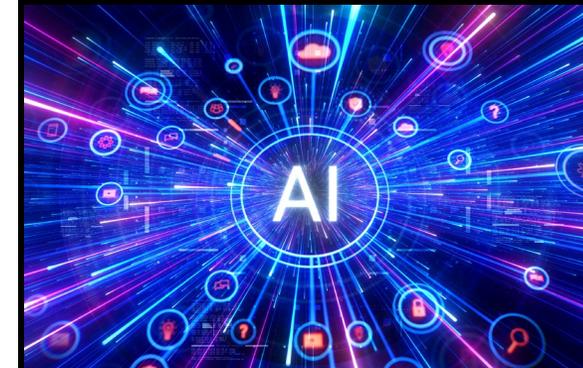
GPT-5.2を基盤とした、論文執筆と共同作業に特化したワークスペース。論文の共同執筆・編集・査読に加え、参考文献の検索、図表生成、構成整理も支援

GPT-5.3 -Codex (2026年2月)



実務的なソフトウェア開発を前提に、設計・コーディング・テスト・デバッグ・セキュリティ修正までを一気通貫で支援する、エンジニアリング作業に最適化された自律型コーディングモデル

Frontier (2026年2月)



AIエージェントの設計・配備・運用・性能改善までを一元的に管理可能とする法人向けAIプラットフォーム。「クリスタル・インテリジェンス」の基盤として、SB OAI Japanが日本企業に展開予定

Stargate推進に向け OpenAI、SBG、SB Energyが 戦略的パートナーシップを締結 (2026年1月9日)

OpenAI

\$500M新規出資

SoftBank Group

\$500M追加出資

SB Energy

SBG子会社

企業概要:半導体IP(電子回路の設計情報などの知的財産)の
ライセンス事業を行う英国の会社

スマートフォンにおける半導体IPの
99%以上がアームベース

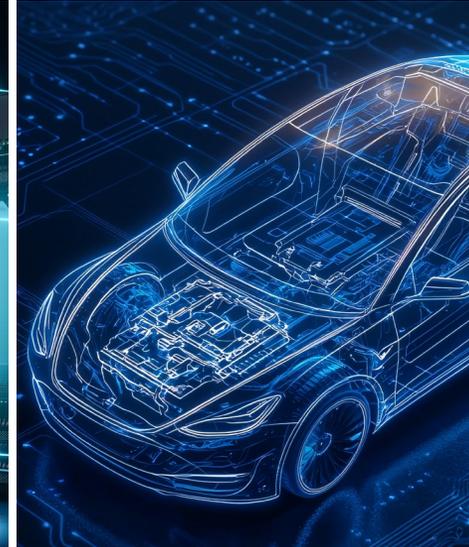


Apple (iPhone)、Google、
Samsung、Oppoなど

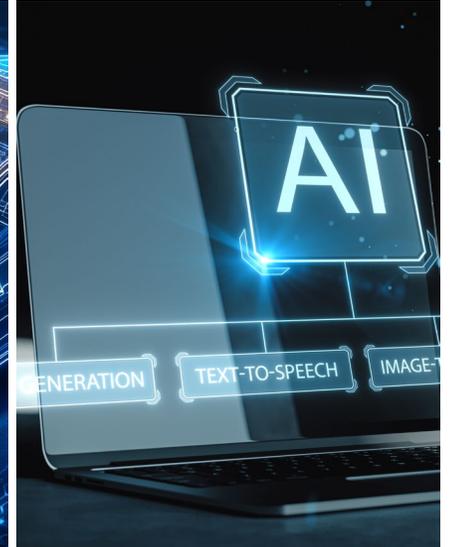
データセンター、自動車、PCにおける
半導体IPでのシェアも拡大



Amazon、
Google、NVIDIAなど



Tesla、
Rivianなど

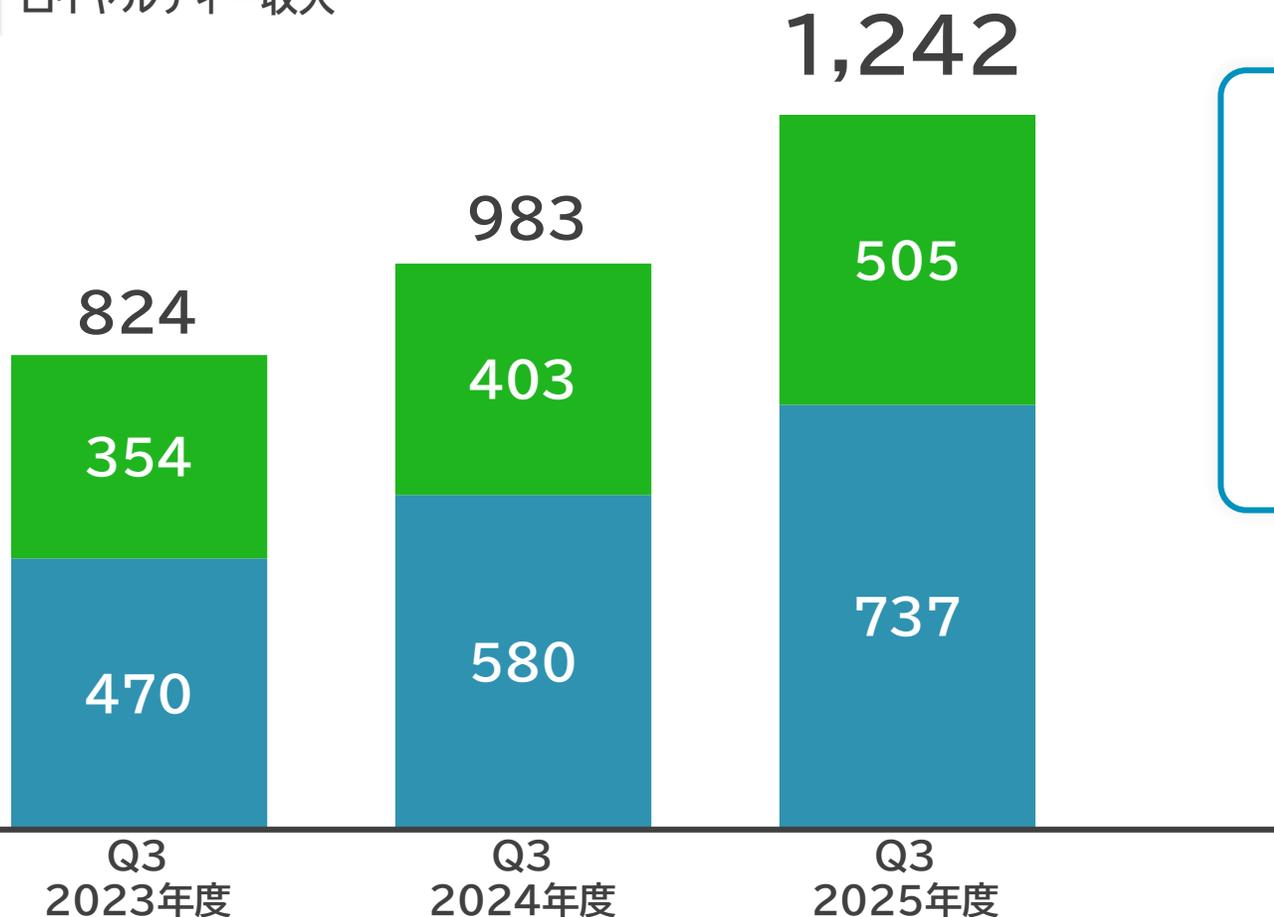


Microsoftなど

売上高 (四半期)(米国会計基準)

(\$ M)

- ライセンスおよびその他の収入
- ロイヤルティー収入

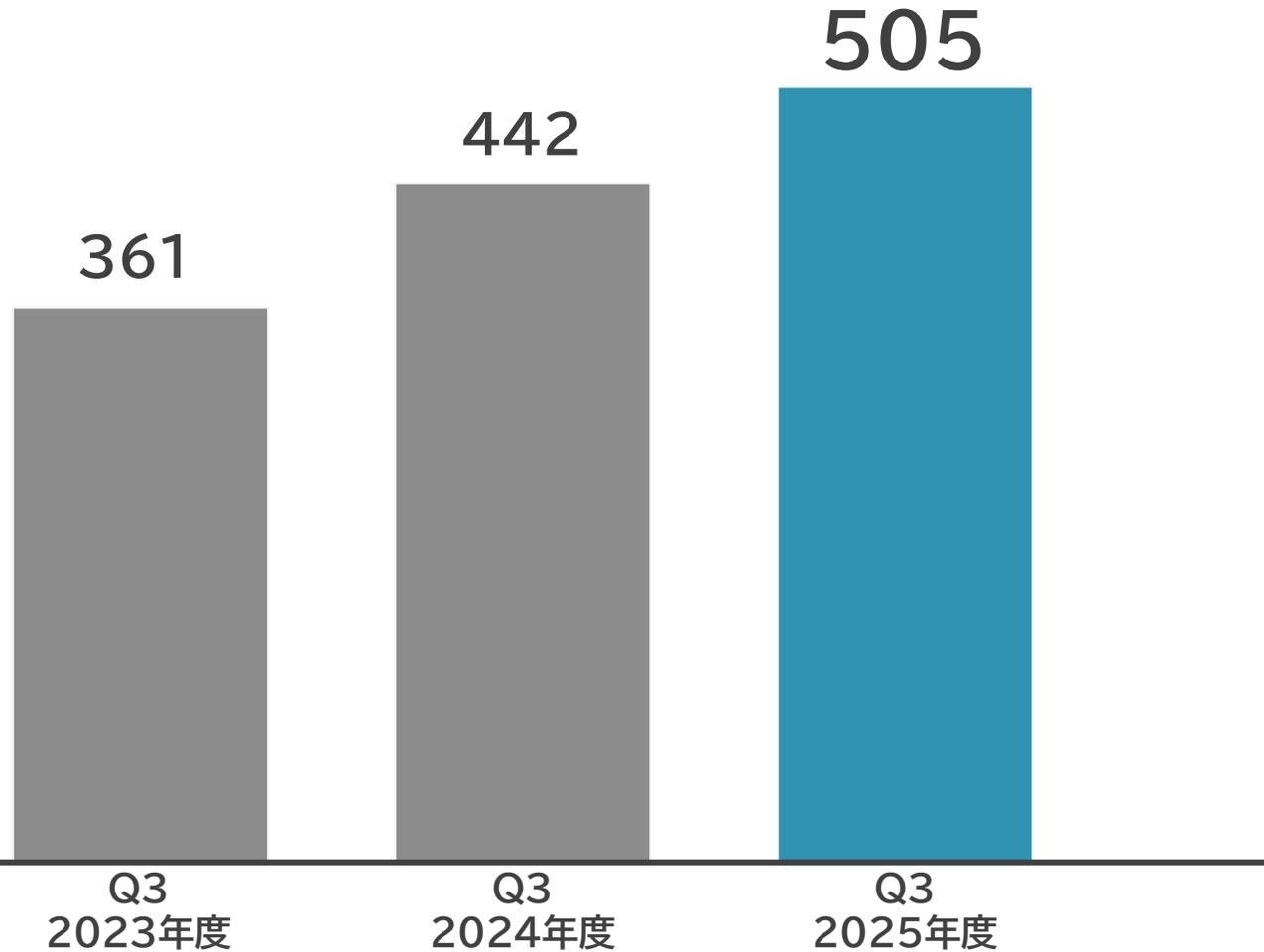


過去最高
前年同期比26%増

(出所) アーム
ライセンスおよびその他の収入: ロイヤルティー収入以外の収入
詳細はArm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

調整後営業利益 (四半期)(米国会計基準)

(\$ M)



前年同期比
14%増

(出所) アーム
調整後営業利益: Non-GAAP Operating Income. GAAP基準数値とNon-GAAP数値間の差異については、アームの「FYE26-Q3 Shareholder Letter」を参照
詳細はArm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

ソフトバンク・ビジョン・ファンド(SVF):概要

SVF

(2025年12月末) (\$ B)	SVF1	SVF2	LatAmファンド
累計投資額	85.7 (13.4兆円)	95.2 (14.9兆円)	7.5 (1.2兆円)
累計リターン	114.4 (17.9兆円)	92.7 (14.5兆円)	6.9 (1.1兆円)
投資開始	2017年	2019年	2019年
存続期間	2029年まで (最大2回の1年延長オプションあり)	2032年まで (最大2回の1年延長オプションあり)	2032年まで (最大2回の1年延長オプションあり)

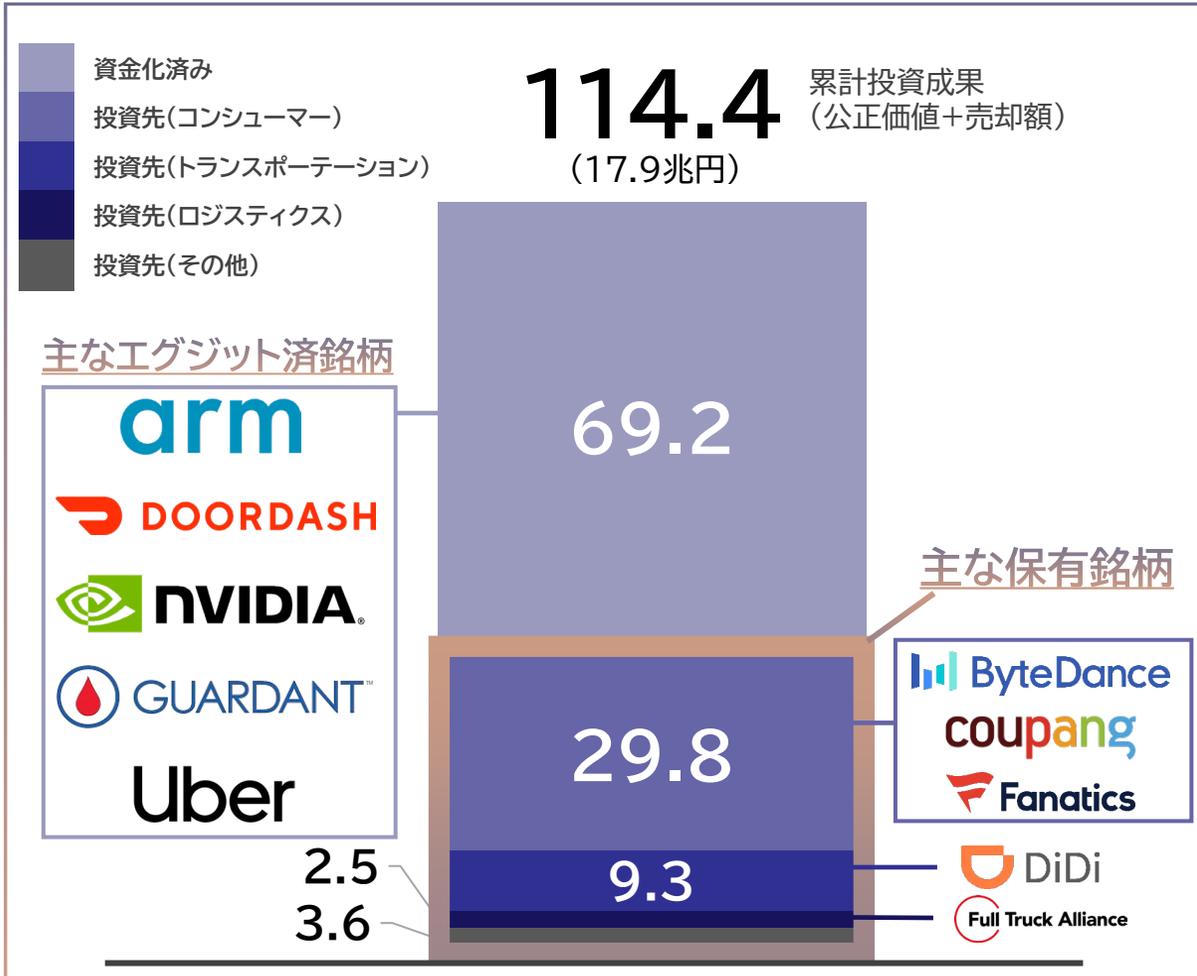
累計投資額、累計リターンはSVFセグメントの金額を表示
 累計投資額、累計投資成果の円建ての数値はFY25Q3期末レート(156.56円)にて換算した参考値

SVF: 累計投資成果(公正価値+売却額)

SVF

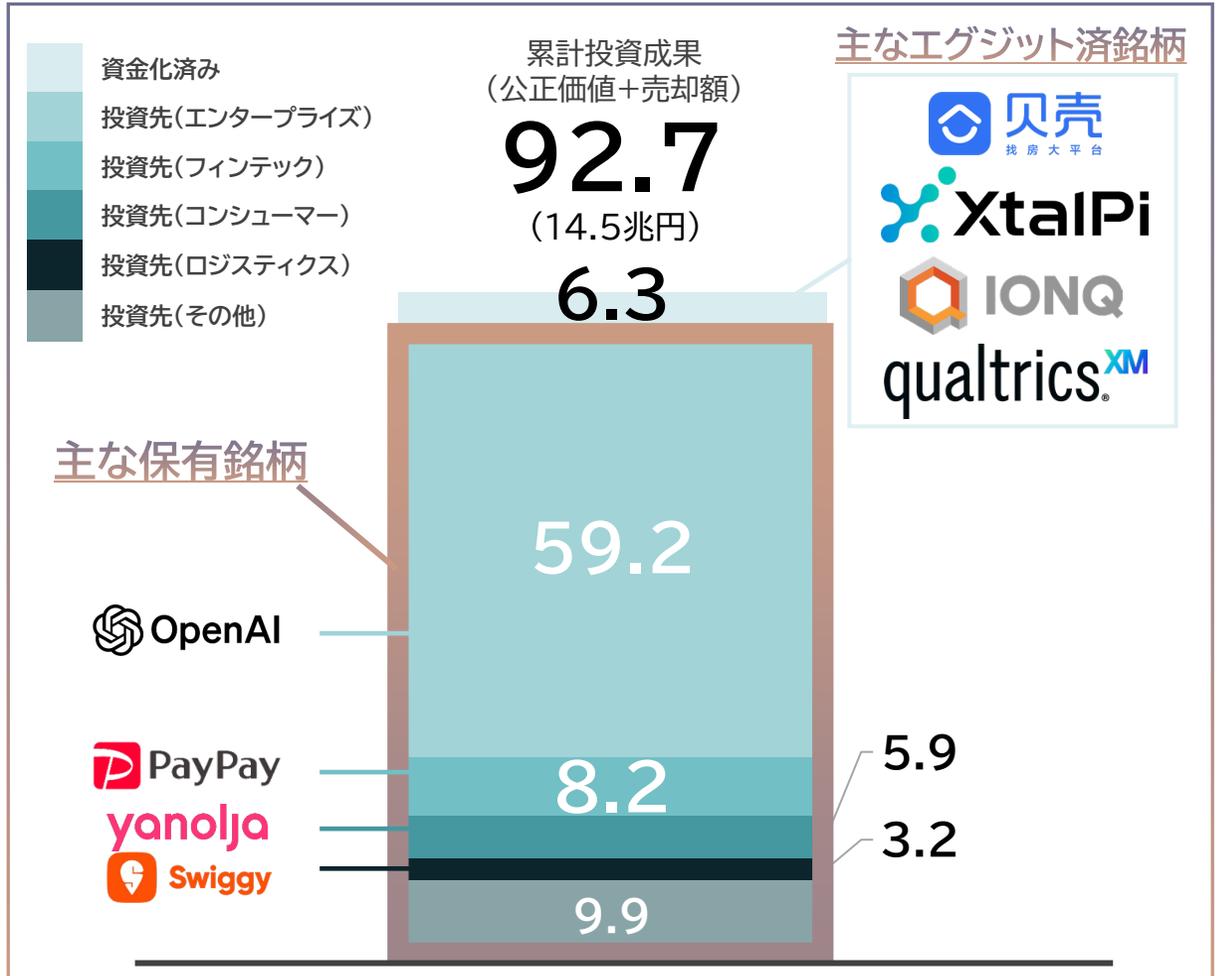
(\$ B)

SVF1



(\$ B)

SVF2



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、各四半期末時点の状態に基づく。
 エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)、デリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。
 SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。
 累計投資成果(公正価値+売却額)の円建ての数値はFY25Q3期末レート(156.56円)にて換算した参考値

投資損益 (活動開始来累計)

SVFセグメント

SVF

(\$ M)



利益拡大

SVF1: +\$28.7B
SVF2: -\$2.5B
LatAm他: -\$0.1B

株式公開実績と今後のパイプライン

SVF

将来の株式公開に向けた強固なパイプラインを確保

株式公開実績

2025年度Q3新規IPO

 **lenskart**
(2025年11月)

meesho
(2025年12月)

活動開始来累計

60件

レイトステージ投資先

公正価値合計
(2025年12月末)

\$90B
(2025年9月末比 +\$34B)

IPOファイリング済

 **PayPay**  **klook**

ETHOS
(2026年1月29日上場)  **XAG**

EIGENCOMM
More than connection

主な投資先

OpenAI  **ByteDance**

 **Fanatics** **Revolut**

oyo  **yanolja**

(出所) SBGAおよびSBIA

株式公開実績(活動開始来累計): IPO件数およびSPACとの合併(De-SPAC)による株式公開件数。株式公開日に投資した投資先および投資後に全部エグジットまたは上場廃止した投資先を含む。

WeWorkおよびFull Truck Allianceは、いずれもSVF1およびSVF2からの投資。OpenAIは、豊富な資金調達実績と直近の評価額に基づき、「レイトステージ」の投資先として分類。

レイトステージ投資先の公正価値: 2025年12月末時点でシリーズE以降または同等のレイトステージラウンドにおいて資金調達を実施した、またはSBGAおよびSBIAの分析に基づき近い将来に上場する可能性があると考えられる未公開投資先の公正価値を含む。

本スライドに記載の投資は、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが実施した投資のうち、シリーズEまたはそれに相当するレイトステージラウンドにおいて資金調達を実施した、または株式公開した投資先を例示するために選択されたものであり、SVF1、SVF2およびLatAmファンドの投資先を網羅するものではない。

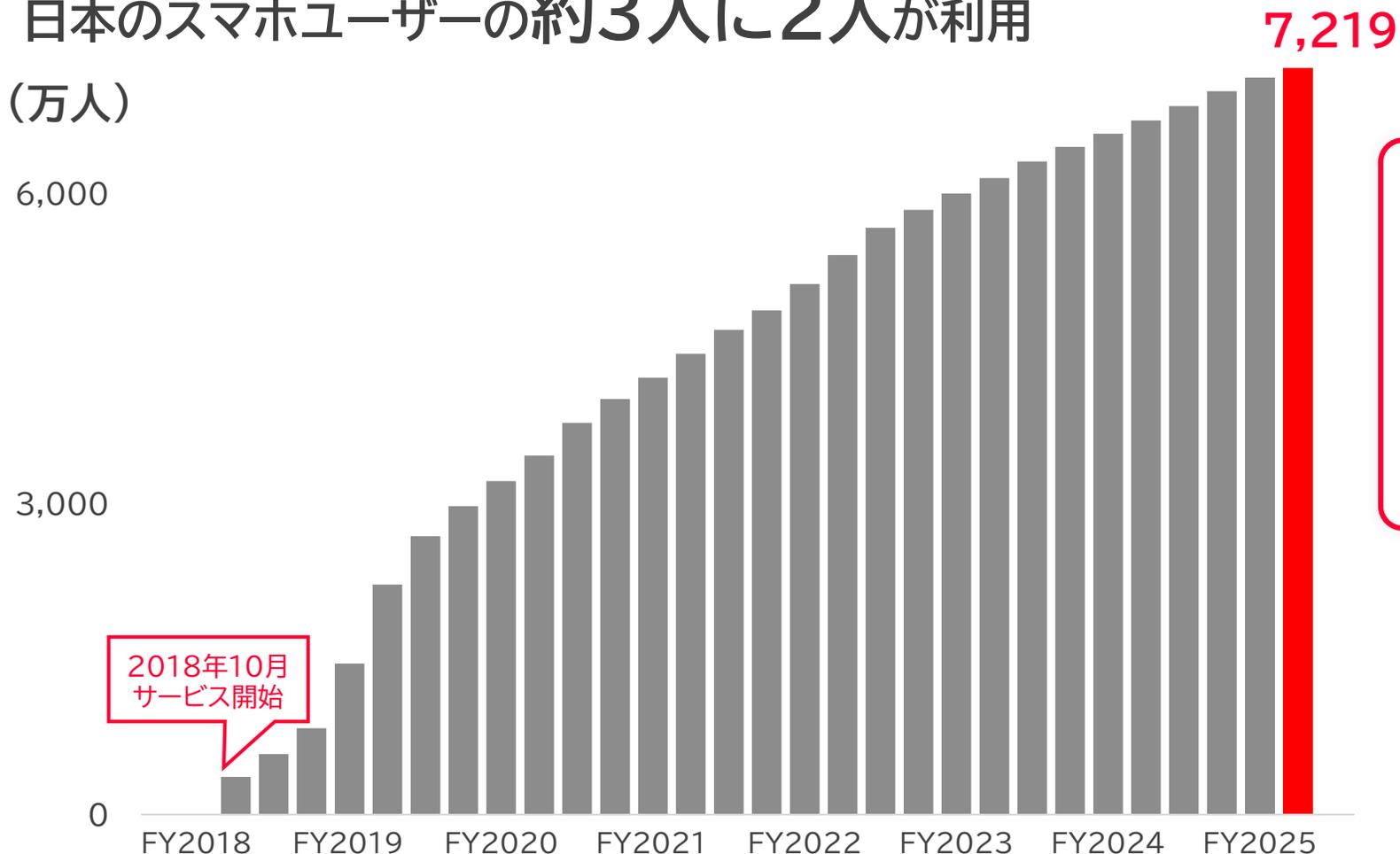
本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。SVF1およびSVF2の投資先一覧は<https://visionfund.com/portfolio>に、LatAmファンドの投資先一覧は<https://www.latinamericafund.com/portfolio>に掲載。レイトステージ投資先が将来的にまもなく株式公開する、あるいはいつでも株式公開が可能であることを保証するものではない。過去の業績が将来も継続することを保証するものではない。

PayPay登録ユーザー数



日本の人口の2人に1人以上
日本のスマホユーザーの約3人に2人が利用

(万人)



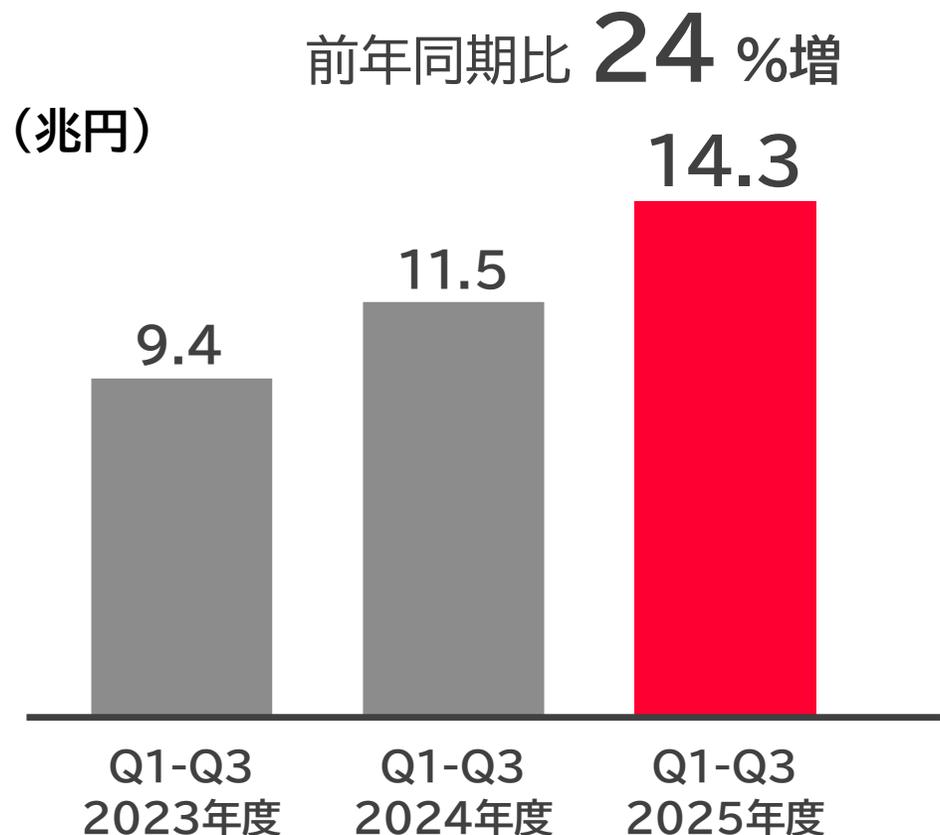
**7,200万人
突破**

(出所) PayPay(株)
7,219万人: 万人未満を切り捨てて開示
日本の人口の約2人に1人以上: 総務省統計局「人口推計-2026年(令和8年)1月報-」を基に、PayPay(株)にて算出
日本のスマホユーザーの約3人に2人が利用: 総務省統計局「人口推計-2026年(令和8年)1月報-」および総務省「令和6年通信利用動向調査」の「1.情報通信機器の保有状況」を基に、PayPay(株)にて算出

主要連結経営指標

決済取扱高 (GMV)

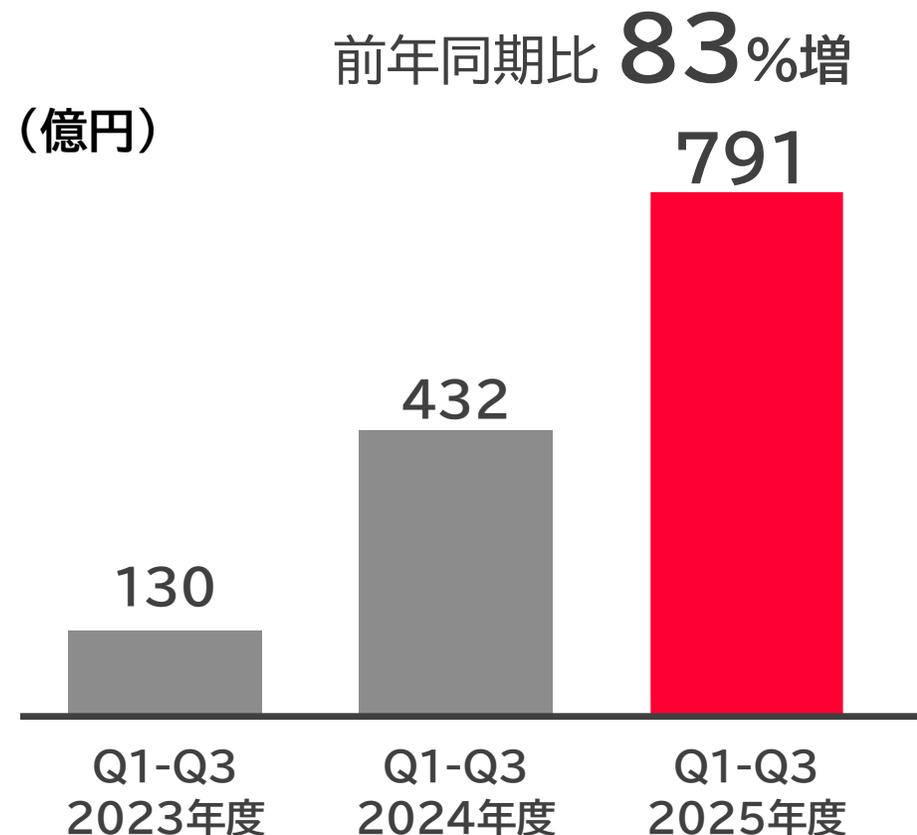
PayPay PayPay カード PayPay 銀行



(出所) PayPay(株)
「PayPay残高」、「PayPayデビット」、「PayPay残高カード」、「PayPayクレジット」、「PayPayカード(物理カード)」、「VISAデビットカード」、「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用、「VISAデビットカード」のキャッシュカード機能利用時のATM引き出し金額は含まない。PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay銀行(株)の決済取扱高を合算し、内部取引を消去。2025年度Q1にPayPay(株)がPayPay銀行(株)を子会社化したことに伴い、2023年度以降の数値を遡及修正

EBITDA

PayPay PayPay カード PayPay 銀行 PayPay 証券



(出所) PayPay(株)
持分プーリング法の適用により、PayPay銀行(株)およびPayPay証券(株)の財務諸表を2022年度から、PayPayカード(株)の財務諸表を2021年度からPayPay(株)に連結。EBITDAは営業利益に減価償却費、減損損失および固定資産除却損等の非経常費用を足して算出、IFRS。非監査数値

ABBロボティクス事業の買収を発表（2025年10月8日）



総額\$5.4Bで取得することに合意
2026年半ばから後半に買収完了を見込む

売上高規模・累計ロボット出荷台数で業界2位



所在地	スイス連邦チューリッヒ
事業内容	産業用ロボットの開発・製造・販売・サービス
従業員数	約7,000人
売上高 (2024年12月期)	\$ 2,279M

DigitalBridgeの買収を発表 (2025年12月29日)

全発行済普通株式を\$3.1Bで取得する契約を締結
2026年後半の買収完了を見込む

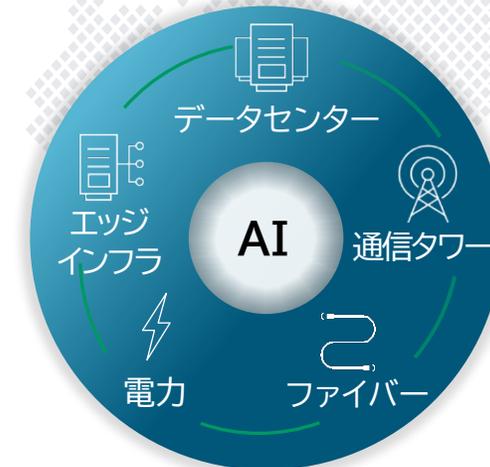


デジタルインフラ投資に特化した
世界有数の資産運用会社

グローバルな投資先



投資分野



運用資産残高

\$108B

ポートフォリオ企業数

45社以上

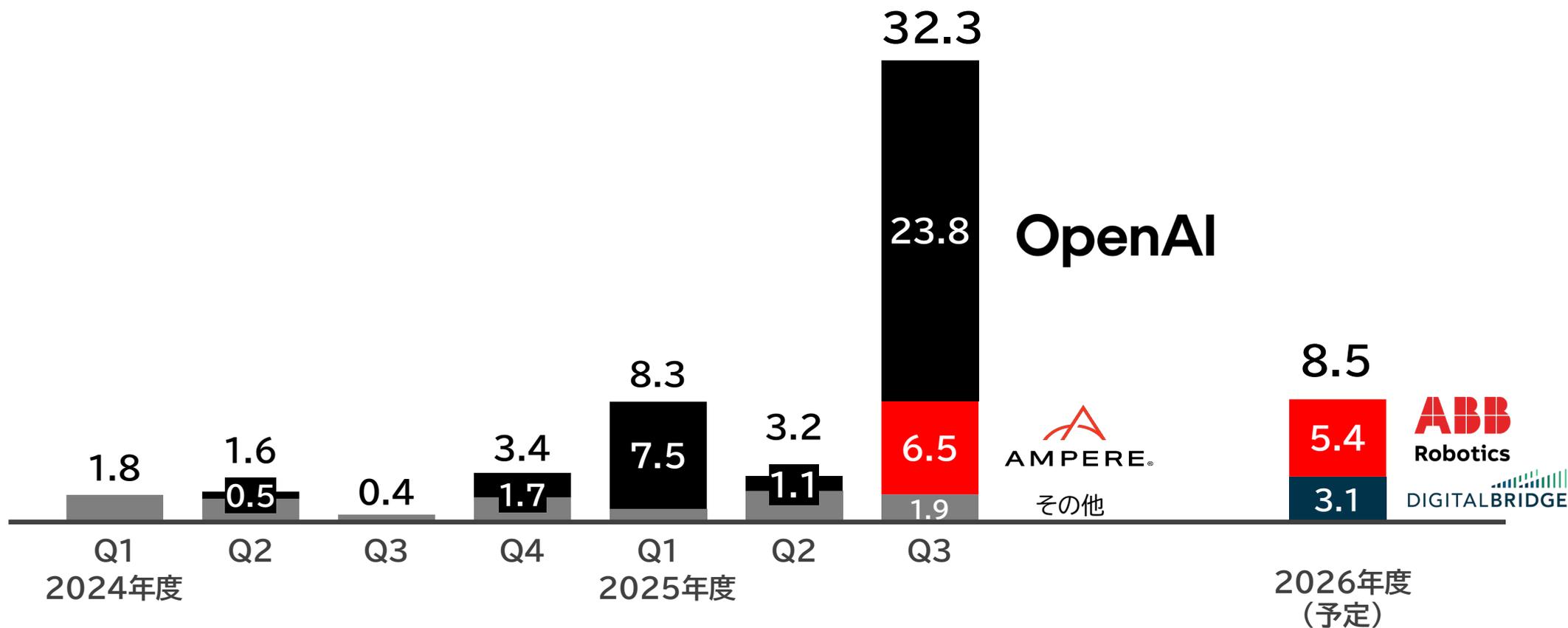
デジタル・インフラ分野のプロフェッショナル人材数

100人以上

運用資産残高: 2025年9月30日現在。DigitalBridgeが自己のバランスシートから投資している、またはDigitalBridgeの子会社が投資助言サービスを提供している投資先企業を含む。同社および関連企業が運用する総資本額(第三者資本および自己資本を含む)であり、投下資本およびコミット済資本に基づく。ファンドの運営文書や規制上の定義には基づかない。
ポートフォリオ企業数およびデジタル・インフラ分野のプロフェッショナル人材数: 2025年9月30日現在

投資額 (SBG+SVF)

(\$ B)



SBG投資額: SBG、主な100%子会社およびロボHDからの投資額(グループ内取引および債券投資の投資額を除く)。Ampereについては同社買収のための支出額(アームへの支払額を含む)。その他の子会社化した投資については、連結キャッシュ・フロー計算書上の「子会社の支配獲得による収支」
 SVF投資額: 連結キャッシュ・フロー計算書上の「SVFの投資の取得による支出」。ただし、OpenAIについては売却額をネットして表示

財務戰略

財務方針に変更なし

通常時 **LTV25%未満** で運用（異常時でも上限35%）

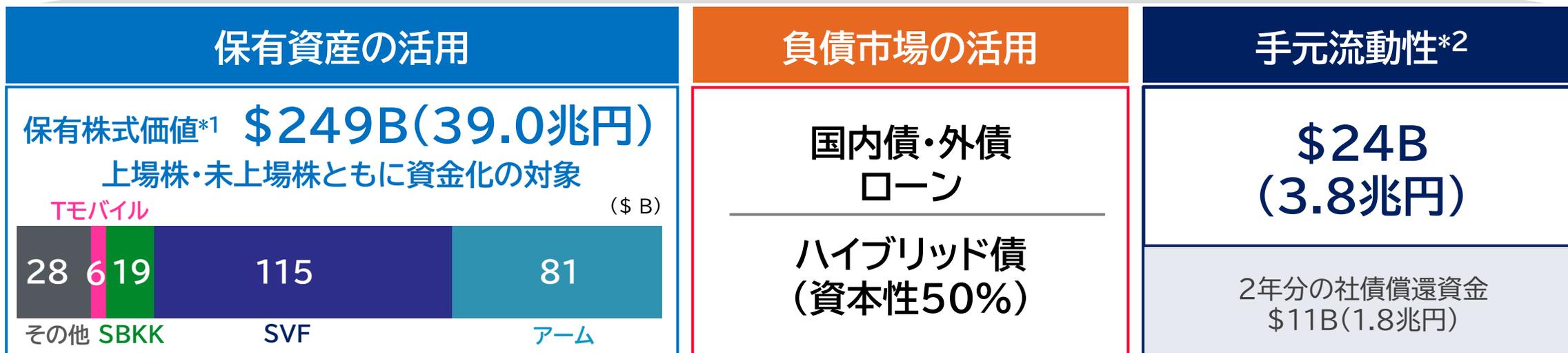
少なくとも **2年分の社債償還資金** を保持

LTVに配慮しながらあらゆる調達市場にアクセス

投資予定 \$8.5B (公表ベース) + ブリッジローン返済 \$12B + 更なる投資機会

ABBロボティクス事業 \$5.4B
DigitalBridge \$3.1B

計画的に資金調達を実行



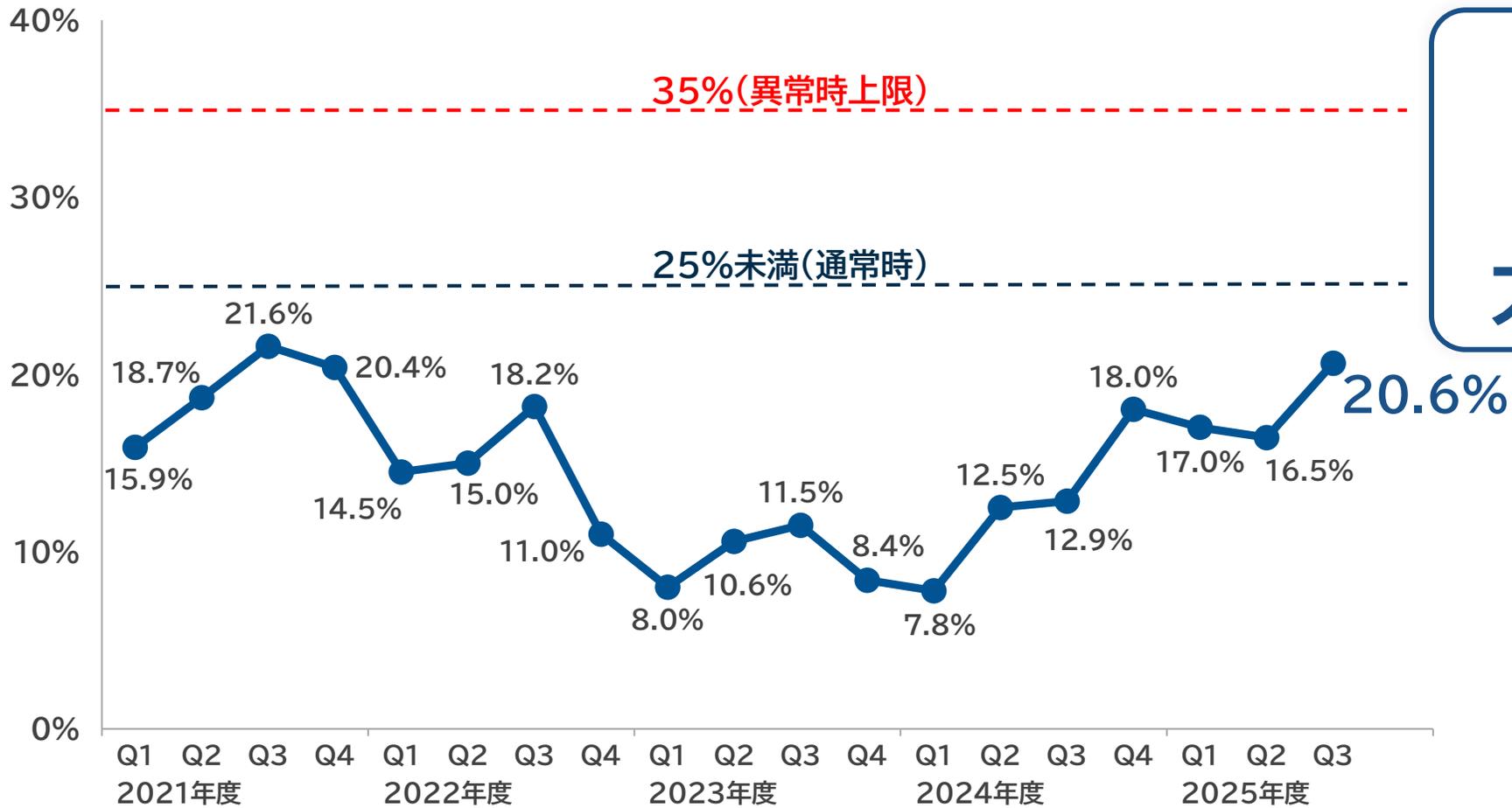
1ドル=156.56円にて換算

*1 アセットバック・ファイナンス除く

*2 手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円(コミットメントライン)。SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン(PBローン)残高4,698億円を控除

アセットバック・ファイナンス除く

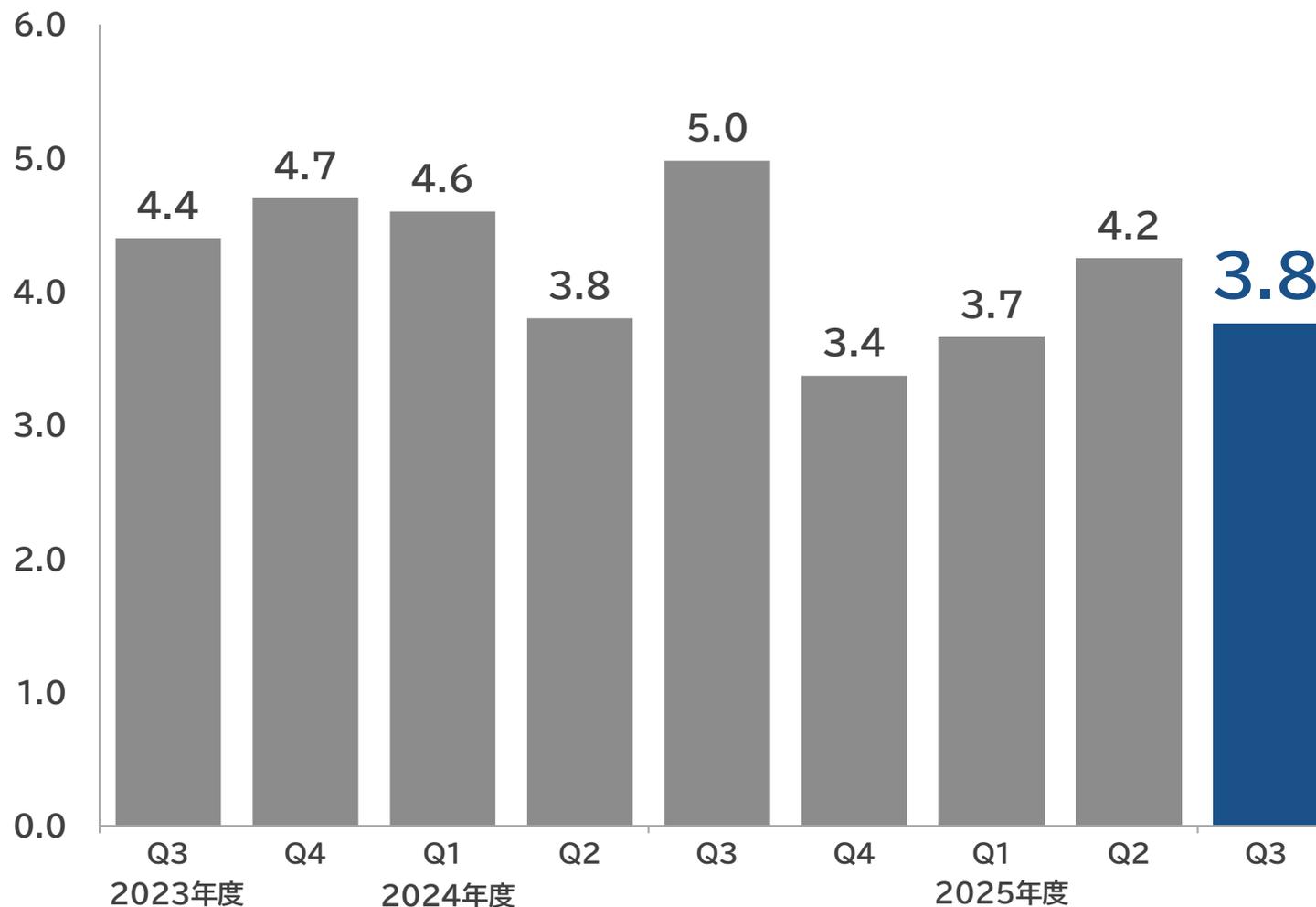
**財務方針を
堅持しながら
大型投資を実行**



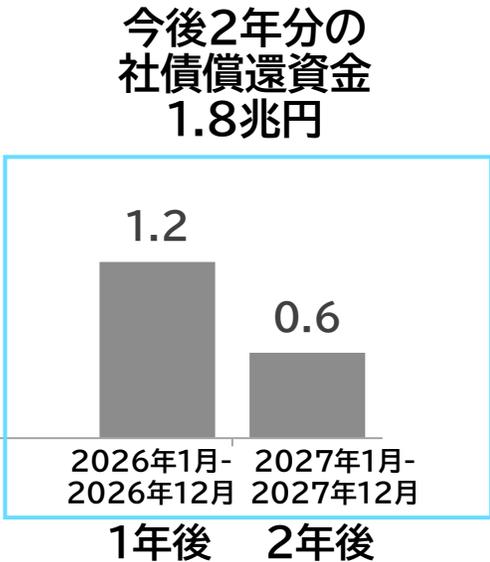
各四半期末時点
LTVの算出方法については、各四半期決算説明会プレゼンテーション資料に記載の「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照

手元流動性

(兆円)



大型投資実行も
高水準を維持

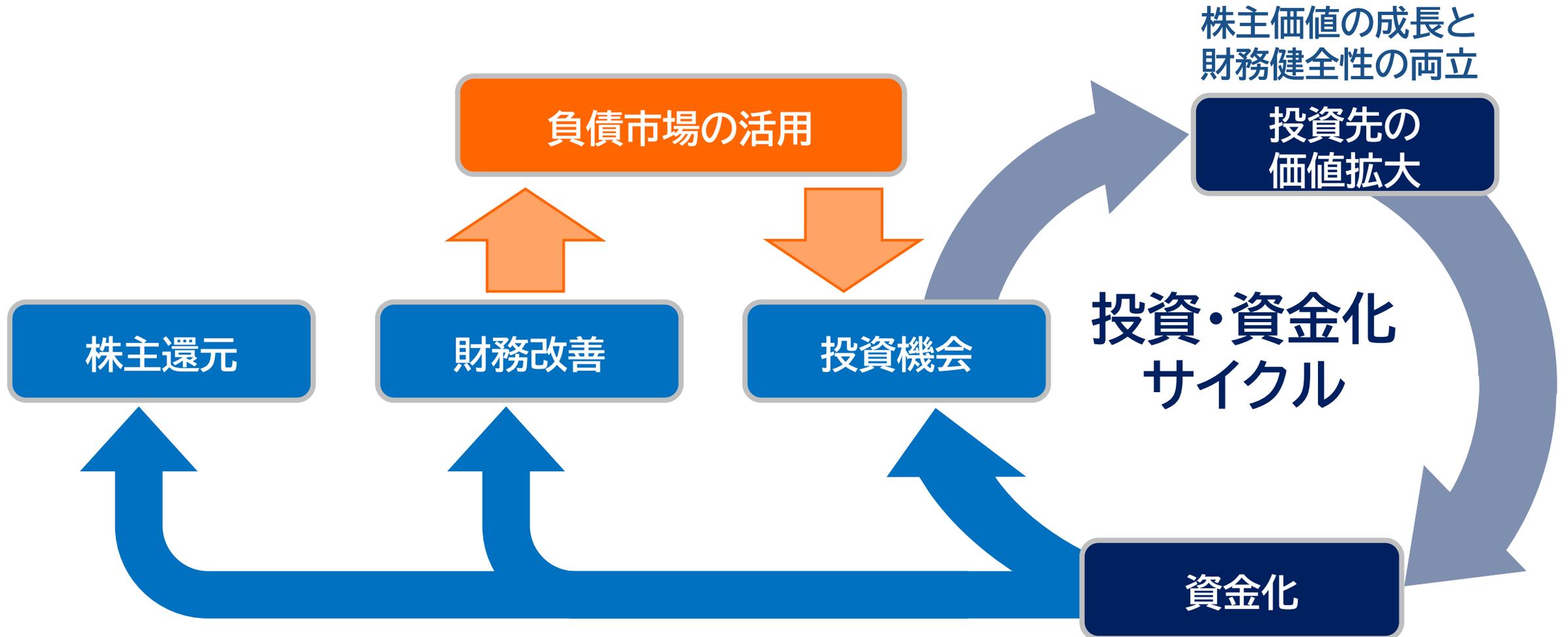


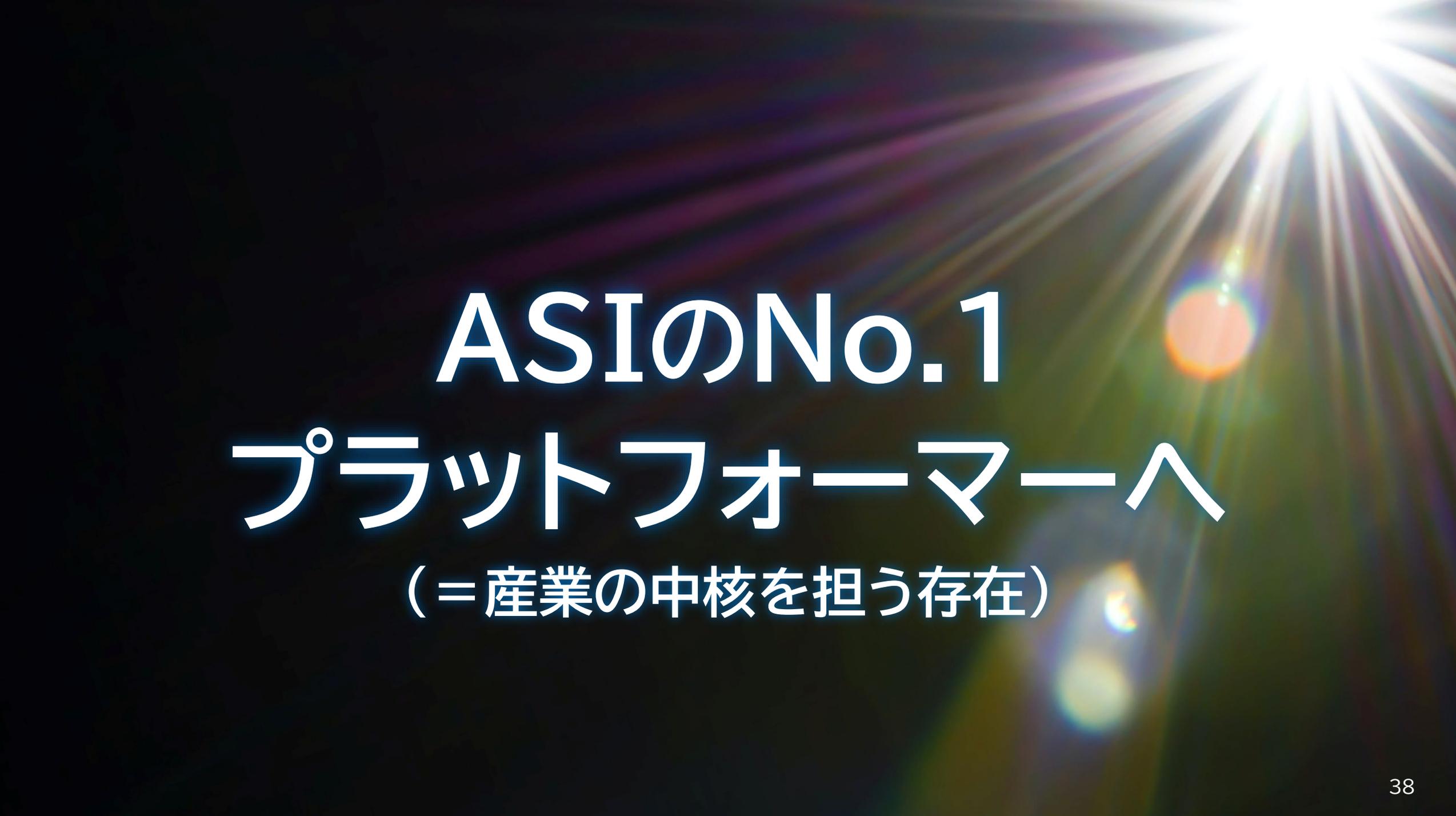
各四半期末時点

手元流動性：現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円(コミットメントライン)。SBG単体ベース。SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン(PBローン)残高4,698億円を控除

投資持株会社の財務: キャピタルアロケーション

投資推進とステークホルダーへの還元のベストミックスが長期的な成長を支える





ASIのNo.1 プラットフォームへ (=産業の中核を担う存在)

AIモデル

OpenAI

チップ

arm

AMPERE[®] **GRAFCORE**

データセンター／電力

Stargate

SB Energy

ロボット

ロボHD

ABB Robotics

大きく進展



Q&A

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2025年12月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Arm: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- その他: (a) + (b) + (c)
 - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。ただし、SB Northstarの純有利子負債はSBGの純有利子負債に含まれるため、同社NAVの算出には含まない

3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債には銀行子会社(PayPay銀行(株)およびLINE Bank Taiwan Limited)の銀行業の預金および手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: Arm、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から手元流動性を減算
- その他調整: 以下の(d)~(g)の調整額の合計
 - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除
 - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入
 - (f) Arm株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2025年12月31日終値
- 為替: 1ドル = 156.56円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、Arm = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2025年9月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Arm: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価
- その他: (a) + (b) + (c)
 - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。ただし、SB Northstarの純有利子負債はSBGの純有利子負債に含まれるため、同社NAVの算出には含めない

3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債には銀行子会社(PayPay銀行(株)およびLINE Bank Taiwan Limited)の銀行業の預金および手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: Arm、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク(同社子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(d)~(g)の調整額の合計
 - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債、第7回円建ハイブリッド債)
 - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (f) Arm株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2025年9月30日終値
- 為替: 1ドル = 148.88円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、Arm = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2025年3月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Arm: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- その他: (a) + (b) + (c)
 - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
 - (b) 非上場株式: SBGが保有する非上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。

3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(d)~(i)の調整額の合計
 - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除(対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債)
 - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入(対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債)
 - (f) Arm株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
 - (h) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2025年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 149.52円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、Arm = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アリババ = Alibaba Group Holding Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。